

編集後記

本特集「透析技術の最前線」では、透析技術の歴史から最新技術、さらには将来展望に至るまでを網羅的に取り上げた。透析技術は半世紀余りで著しい進歩を遂げ、今日の透析医療を支える基盤となっている。

こうした透析技術の発展と歩調を合わせて進化してきたのが臨床工学技士である。臨床工学技士は国家資格としては約40年前に制度化されたが、それ以前の透析医療の黎明期において、無資格ながらも透析装置の操作や体外循環の管理に携わり、血液浄化療法の実践を支えてきた。透析方法、透析装置、体外循環技術などの進歩に対応しながら、透析医療とともに発展してきた専門職である。

本特集では、透析技術の歴史、透析技術の

最前線と未来、透析液の水質管理・清浄化や排液基準とその管理、透析装置の最新機能、ダイアライザ・透析膜の最新知見、エコーガイド下穿刺の新技术、バスキュラーアクセス管理、オンラインHDFやIHDFの最新技術、透析モニタリングの最前線、そして在宅透析と遠隔管理技術の最前線など、多岐にわたるテーマを取り上げた。

臨床工学技士であり、各分野の第一線で活躍されている先生方に執筆いただき、透析技術の現状と未来への展望を具体的かつ平易に解説いただいた。本特集が、透析医療に携わる皆様にとって有益な情報源となり、今後の技術革新の一助となれば幸いである。

(山下芳久)

2026年(Vol.42)特集のご案内

- No.① 患者参加型医療として透析を考える
—SDMとACP
No.② 人工知能を活用した透析医療の最適化
No.③ 透析治療システムの生体適合性—基礎的知見から患者報告アウトカムまで

- No.④ 透析技術の最前線
No.5 看取りの透析医学
No.6 透析医療と看護師の特定行為—看護師の役割拡大

(既刊は○)

臨床透析® Vol.42 No.4

©2026年4月10日発行

定価：2,860円
(本体2,600円＋税10%)

- ・2026年 年間購読料(増刊号含む13冊、税込)
冊子版 39,050円
電子版(個人のみ) 39,050円
冊子版＋電子版(個人のみ) 44,550円
(詳しくはホームページをご覧ください)
- ・年間予約購読は前金にて書店あるいは弊社宛お申し込みください。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-64 神保町協和ビル

営業直通電話(03)3291-3901(代) FAX(03)3291-3904

編集直通電話(03)3291-3971(代) FAX(03)3291-3377

e-mail dialysis@nmckk.co.jp URL <https://www.nmckk.jp>

印刷所 シナノ印刷株式会社

・Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2026, Printed in Japan

・本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(☎03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

■広告申込所／株式会社 文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-9-5 NK本郷ビル 電話(03)3814-8541